

第6回 市民交流会 第1回実行委員会 議事録

と き：2005年9月30日（金）19:30～
ところ：市役所 3階 大会議室

司会：市民課市民参画女性係 松岡
書記：市民参画女性係 渥美
参加者 実行委員26名

1. あいさつ、事業の説明

市民課 最所副参事より

2. これまでの市民交流会について（別紙パンフレット参照）

園田寿美恵さんより第1回から第5回目までの市民交流会を説明

3. 自己紹介

- ・ どんな交流をしたいか？（まちへの思いも含めて）

下記のとおり

4. 次回実行委員会へ向けて

開催時間、場所、テーマ、内容、形式を次回以降決めていく。
どんな交流をしたいか？一度それぞれが考えてくる。
役員選出

交流会開催日決定：2006年2月26日（日）（予備は19日）

次回は・・・2005年10月11日（火）です。
19:30～第3委員会室

3. 自己紹介

- ・どんな交流がしたいか？（まちへの思いも含めて）

村上：昨年、実行委員長をさせていただいた。高齢者と子ども達の世代をターゲットにした交流会をしたい。

小林：市役所の防災を担当している。2年前の実行委員にも関わった。いまは案がないが、みなさんとともに考えていきたい。

岩間：30代後半から40代の方と交流をしたい。

園田：気軽に参加できる楽しい交流会にしたい。毎月21日のテーマにもなっているが、異文化交流も視野に入れたい。

寺山：招き猫の会の代表をし、空き店舗の利用を市民とともに考えている。団体に所属していなくても気軽に1人の市民として参加できるところがこの交流会の最大の魅力であると思う。できるだけ新しい人の参加を望む。

渡邊：はじめての参加。現役時代は東京でNPO活動をしていた。その経験が役に立てばと思う。

奥田：この交流会は今年で6回目になるが、近所の方があまり知らないのが残念である。もう少し周知徹底をしたい。

田中：関町から始めて参加した。一緒に考えていきたい。

一見：昨年、一昨年と市民交流会に参加し、良いことをしているなと思い、今年は初めて実行委員になった。これから交流を考えたい。

西：毎年委員として、関わらせていただいている。もうこんな時期が来たのかという感じている。いろいろな方と交流出来ればと思っている。

尾崎：亀山の自然環境を考える会の活動をPRしたい。

浅田：亀山の自然の良さをPRしたい。

井崎：踊り・祭りを考える会に所属している。体を動かせるような交流会もいいのではないか。

福島：坂下から初めて参加した。鈴鹿川の源流の地区として自然を愛する会と連携して交流できればと思う。

不破：関から初めて参加した。いきいきキッズ子ども応援団に所属している。子どもと大人のジョイントを考えたい。

服部：関から初めて参加した。関宿保存会、まちなみ案内ボランティアに所属し、関町では、道の駅などのワークショップにも参加したりしていた。市民交流会は、個人で参

加できるものだとは知らなかった。個人での参加者がどのくらいいるのか知りたい。

伊藤峰：交流会はもともと亀山をよりよくしたいという思いのある市民が集まってはじまった。毎年関わっている。

小菅：商売をしている人に参加していただく交流会にしたい。過去の交流会では、汗をかいてえるものの大きさを知った。若い人の参加をもっと呼びかけ、輪を広げたい。

倉田：初めての参加。みえ長寿大学推進協力員をしている。団体には属してないが、交流会にはいつも参加している。お祭り気分のなかで、ちょっとまじめな交流会を行いたい。

桜井：亀山市職員。少しでも多くの方が集まる交流会を考えたい。

伊藤正：「個が輝く亀山」のように個人の方がいかに多く集まって面白い交流会にするかを考えていきたい。

鈴木寿：宿場の賑わい復活一座、きらめき亀山21企画会議に所属している。「地域を知ること人は知ること」、「生涯勉強まちづくりは人づくり」をモットーにしている。互いのコミュニケーションを大切にしたい交流会にしていきたい。

横山：今までと違った人と出会い、何かをしたい。地域づくりと、子どもたちと何か出来るような交流会にしたい。

冬柴：団体の人ではなく、個人の人に多く来てもらいたい。

伊藤彦：今年は関の方がたくさん実行委員に携わっていただいている。昨年から実行委員として関わらせていただいている。亀山の活性化を考えたい。

フリートークにて・・・

- ・ 前回の外国人の出席者が0であったと思われるので、外国人に参加してもらいたい。
- ・ 行政との協働事業である。
- ・ お祭り気分のなかでふと気づかせるものが必要。
- ・ マンネリは避けられない問題である。
- ・ 「この指とまれ」で関心のある方が集まればよい。
- ・ 団体の発表は、毎年あるが、個人の発表も可とする交流会にするべきである。
- ・ 体を動かす交流会もよいのではないか。（もちろん話し合いの時間は必要であるが。）

第6回 市民交流会 第2回実行委員会 議事録

と き：2005年10月11日（火）19:30～

ところ：市役所 3階 第3委員会室

司会：市民課市民参画女性係 渥美

書記：市民参画女性係 岸田

参加者 実行委員17名

1. 交流についてのイメージ

下記のとおり

（個人の意見が言える唯一の場であり続けることが大切）

2. 開催場所

第1希望 関小学校

第2希望 関中学校

3. 役員選出

実行委員長 次回に決定

副実行委員長 次回に決定

書記 伊藤幸一さん

会計 次回に決定

4. 次回実行委員会へ向けて

メインテーマ（キャッチコピー）を次回決め、内容、形式を考える。

次回までに各自で内容を検討する。

役員（委員長・副委員長・会計）選出

次回は・・・2005年10月31日（月）です。

19:30～第3委員会室

1. 交流についてのイメージ 4つのグループに分かれて討議

●交流内容

- ・ 外国人・障害者との交流
- ・ 企業との交流（シャープ・イトーキなど）
- ・ 地元企業との交流
- ・ 小・中・高生との交流
- ・ まつり・イベントの掘り起こし交流
- ・ 軽スポーツをみんなでする。

●意見交換

- (ア)ジャンルを決めて話し合い（問題点→解決法→誰がやる）
- (イ)午前中は、グループの発表と講演会、午後は、話し合いとまとめ
- (ウ)ワークショップをしてまとめ発表する。
- (エ)自分の市に対する思い・願い・不満等意見を出し合い意見交換する。
- (オ)意見を出し合うのが第一。その後みんなで一緒に体を動かしたい。

●出席者

- (カ)市民と行政（市長も必ず）

●昼食ほか食べ物

- (キ)作る人が拘束されるので、市販品でもよいのでは、（作ることで参加している人もいる。手作りでも良いのではないかとの意見もあり。）

●場所

- (ク)神辺小学校→昨年開催したので別の場所がよいのでは。
- (ケ)西小学校→来年完全に完成してからでもよいのでは。

●会場

- ・ 関地区で開きたい。→関小学校、関中学校

●参加者

- ・ 中・高生をたくさん呼び込む交流会にすべきである。

●内容

- ・ 話し合う時間を多く取りたい。

- ・ 受身の参加から発信できる参加へ

↓
自己アピール

↓
ディスカッション

↓
グループ化・・・実現のための行動へ

- ・ テーマを4つ程設定し、それぞれのテーマごとに交流の仕方を工夫する。
- ・ よさこい踊りコンクールをしてはどうか。
- ・ 亀山・関の伝統祭りに幾つか参加してもらってはどうか。

●新市の将来像

- ・ 新市発足に際し、5年後・10年後のまちの姿について語りあう。
- ・ まちの近い将来の姿を少人数のグループに分け、大きな絵に表現する共同作業の場にしてはどうか。

●討論による交流

- ・ パネルディスカッションをし、広く市民の発言を求める。
- ・ 市民交流会を行っている他の地域・先進地との交流・講演など。

●参加者を増やす

- ・ あいあいを会場にしてはどうか。大広間を各ブースの交流の場とする。
- ・ 小・中・高や20才前後の人達も交えた話し合いの場を設ける。
- ・ 食べ物のコーナーを作ってはどうか。

●地域間交流

- ・ 自分の住むまち以外を探索後、いいところ悪いところを意見交換。
- ・ 地域の特産料理を出し合う。
- ・ 各コミュニティの活動を発表する場を設け、コミュニティ間の温度差を縮小させる。
- ・ 各地区のお祭りを集め、お祭りの伝統を紹介する。その後、地区交流を図る。

●PR 多くのネット活用

- ・ ケーブルテレビ（ZTV）の有効活用。
- ・ 実行委員がいろいろな人に働きかける。
- ・ 企業の方と商店の方の協力を呼びかける。

●参加対象者 多くの人の参加

- ・ 中学生と高校生に参加してほしい。学生に発表の機会を提供する。

●内容 各地区・各サークルの特色の交流

- ・ 各地域の特色を出したものを発表に取り入れる。
- ・ 文化発表（成果発表）グループと資料での情報提供グループを分けての交流をしてはどうか。
- ・ 関から亀山へ、亀山から関へお互いメッセージを送る。

第6回 市民交流会 第3回実行委員会 議事録

と き：2005年10月31日（月）19:30～
ところ：市役所 3階 委員会室

司会：市民課市民参画女性係 渥美
書記：市民参画女性係 金子
参加者 実行委員19名

1. 開催場所

関小学校 体育館他 に決定

※駐車場は、運動場を利用させていただく。

2. 役員選出

- ・ 実行委員長 服部亜樹さん
- ・ 副実行委員長 鈴木寿一さん
- ・ 書記 伊藤幸一さん
- ・
- ・ 会計 小菅まみさん・伊藤峰子さん
- ・ エコ推進担当 浅田正雄さん・尾崎吉隆さん

3. 内容

- メインテーマ

「ええとこ残そう未来の亀山へ」

- 形式

前回と同じく4つに分かれて話し合いをしてはどうか？発言者の声が聞き取りにくかったので、教室ごとに分けてはどうか。
合併して良かった点、悪かった点を話し合ういい時期なのではないか。
開催地である関町の文化などを活かした話し合いにするのが良い。
関町の文化を体験してもらい、その後話し合いをしてはどうか。
亀山・関の「ええとこ自慢」をしてはどうか。
話し合いはずせない。遊びの要素も必要。でないと人が集まらない。
これからの亀山でできることを話し合い。「これがやりたい亀山」をテーマに話し合いをする。

4. 開催時間

10:00～15:00

次回は・・・2005年11月16日（水）です。

19:30～理事者控室

第6回 市民交流会 第4回実行委員会 議事録

と き：2005年11月16日（月）19:30～
ところ：市役所 3階 理事者控室

司会：鈴木寿一
書記：伊藤幸一
参加者 実行委員20名

1. 役員決定

- ・ 実行委員長 鈴木寿一さん
- ・ 副実行委員長 服部亜樹さん
- ・ 書記 福島長幹さん・伊藤幸一さん
- ・ 会計 田中一弘さん・小菅まみさん
- ・ エコ推進担当 浅田正雄さん・尾崎吉隆さん・渡辺佐智男さん

2. 内容

- メインテーマ

「ええとこ残そう未来の亀山へ」

- 形式

- ・ 個人で参加しやすいように教室ごとに部屋をわけてはどうか？
- ・ 話し合いをスムーズに進めるためにもファシリテーターが必要
- ・ ジャンル分けして課題を追求してはどうか？
- ・ 中学生・高校生が参加できるような分科会をつくりたい
- ・ 環境・町並み保存・教育・観光の4ぐらいにジャンルを絞って分科会を行ってはどうか？



話し合いの結果、昨年のように1つのテーマで話し合うのではなく、分科会形式で話し合いをすることが決定した。
どの分野にいくつに分かれるかは、次回実行委員会にて決定する。

3. その他

11月21日（月）委員長・副委員長と市民課で関小学校を訪問
会場を見学させていただく。

次回は・・・2005年11月30日（水）です。

19:30～大会議室

第6回 市民交流会 第5回実行委員会 議事録

と き：2005年11月30日（水）19:30～
ところ：市役所 3階 大会議室

司会：鈴木壽一

書記：伊藤幸一

参加者 実行委員20名

1. 市民交流会の内容について

● 形式決定

会場の図面を提示

- ・ 教室の規模からして、1つの分科会で40人までが限度。分科会の数としては、4～5ぐらいが適当ではないか。
- ・ 関小学校で行うには、関の市民活動団体をふくめて、関地区の方にいかに参加していただくかを考えるべき。ジャンル分けをして分科会もよいが、ディベートで合併問題の良いところ、悪いところを討論してはどうか。
- ・ 会場が関ではあるが、いままでのようにジャンル分けして話し合いを持つべきではないか。5年前に神辺小学校で行った時も、参加者にとってははじめての話し合いになった。今回も関地区にとっては初めての参加になる方もみえるので、ジャンル分けの話し合いを持つべきである。
- ・ ジャンル分けした方が、話し合いに参加しやすい。また、わかりやすいサブテーマを設けるべきである。
- ・ 関・亀山と意識しなくてもよいのではないか。たまたま会場が関小学校であって、市民が個人で自由に参加できる話し合いの場が持てればよいのではないか。
- ・ 中学生・高校生が参加できる分科会を設けるべきである。

↓
① 残そう伝統文化②いきいき地域づくり
② 子どもとともに何が出来るか④外国人とともに暮らすには
⑤ふるさとの味、わが家の味

の5つのテーマに分かれて話し合うことに決定した。

各教室で昼食に鍋を囲んでどうかとの提案あり。

2. 参加者へのPRチラシ・各団体への呼びかけについて

- ・ 話し合い（分科会）のテーマを決めた時点で時間が無くなったため、チラシの内容検討については次回に持ち越し。
- ・ 団体への呼びかけについては、展示スペースのみ設けるのか、活動報告をしていただくのかがまだ決まっていないため、次回検討し、決まり次第、ハガキで呼びかけることとする。

次回は・・・2005年12月12日（月）です。

19:30～大会議室

第6回 市民交流会 第6回実行委員会 議事録

と き：2005年12月12日（月）19:30～
ところ：市役所 3階 大会議室

司会：鈴木壽一
書記：伊藤幸一
参加者 実行委員14名

1. 当日スケジュールについて

当日スケジュール
10:00～10:30 オープニング (関中発表打診)
10:30～13:00 昼食を食べながら 話し合い。
13:00～14:00 全体発表会 (話し合い発表)
14:00～15:00 展示交流

- ・今回は、団体の発表よりも話し合いを主に考えたい。
- ・5つのテーマで話し合いが先。その後全体発表会をする。
- ・団体・グループは、展示発表のみで、活動報告は省略すべき。
- ・昼食を食べながらざっくばらんに話が出来ると良い。
- ・5つのメインテーマに「子ども」と「外国人」があるので、まずオープニングで中学生や外国人に参加していただき、そのあとの話し合いにも参加していただくべきである。実行委員会はあくまで一般の市民を迎える側であるのでたくさんの世代がさんかできる場をつくるべきである。
- ・団体・グループの発表は、興味のある方にのぞいてもらうような方法でやるべき。あくまで5つのテーマでの話し合いが重要。
- ・人権フェスティバルでの関中学校の取り組み発表がすばらしかった。ぜひ市民交流会でも発表していただき、その後の話し合いにも中学生に加わってもらえれば良い。

2. 参加者へのPRチラシ・各団体への呼びかけについて

- ・チラシの表面には5つの各分野を入れるべきである。メインテーマと日時場所を大きくし、シンプルにわかりやすく呼びかけるようにする。裏面はタイムスケジュールをメインに地図や出演団体（関中学校など）の紹介を入れる。
- ・団体への呼びかけについては、展示スペースのみ設けて14:00から15:00までの時間に参加者が自由に立ち寄れるブースを設けることとする。往復はがきで市民ネット登録155団体を中心に往復ハガキで呼びかけることとする。申込み期限は、平成18年1月13日（金）までとする。出展状況をみて展示のレイアウトは次回検討する。その出展団体向けの説明会を実施する方向で考える。ハガキ印刷作業は12月19・20日頃に行う。
- ・個人にハガキで参加を呼びかけたらどうかとの意見もあったが、実行委員全員が呼びかけるとなると通信費でコストがかさむので、ハガキを使いたい人のみハガキを使用して勧誘することになった。全体への呼びかけは市広報やCATVで行う。チラシの各戸回覧も検討する。

次回は・・・2006年1月12日（木）です。

19:30～大会議室

第6回 市民交流会 第7回実行委員会 議事録

と き：2006年1月12日（木）19:30～
ところ：市役所 3階 大会議室

司会：鈴木壽一
書記：伊藤幸一
参加者 実行委員22名

1. PRについて

- ① PRチラシについて 配布に向けて最終決定。色はクリーム色に決定
- ② 2/16号広報へのPR掲載と原稿 原稿承認、掲載決定
- ③ PRチラシの配布方法について 2月1日号の市広報とともに自治会各戸回覧1700部、関小学校・中学校児童生徒配布550部、亀山大市での配布と中部中と亀中のクラブ顧問に配布用に750部の合計3000枚を印刷する。必要枚数のみの印刷で、各コミュニティにはA3サイズのポスターを20部用意する。

3. 出展団体応募状況について

1月12日時点で20団体が出展希望。最終的には、25団体になる見込み。レイアウトについては、次回実行委員会で提示する。また、出展者説明会については、出展担当で協議して、次回実行委員会までに開催予定。

3. 会場レイアウトについて

各教室については、1部屋25人から30人までの収用人数なので、1つの分野につき2教室を確保することとする。（1の1、1の2～5の1、5の2までの10部屋を確保する）他に、託児を託児ボランティア子育て支援「かめのこ」に依頼することが話し合わせ、体育館に近い1階の生活科室を託児室に決定する。食事の運搬に配膳室のエレベーターを利用してもよいか小学校に確認する。

4. 役割分担について

総合司会 2名 伊藤正弘、伊藤峰子

ファシリテーター（進行） 5名

- ・ 残そう伝統文化 一見八郎
- ・ 子どもと共に何ができるか？ 倉田
- ・ いきいき地域づくり 福島
- ・ 外国人と共に暮らす 服部
- ・ ふるさとの味、我が家の味 園田

記録 5名

- ・ 残そう伝統文化 伊藤彦太郎
- ・ 子どもと共に何ができるか？ 西
- ・ いきいき地域づくり 坂倉
- ・ 外国人と共に暮らす 伊藤幸一
- ・ ふるさとの味、我が家の味 加藤

出展 3名 古市、岩間、水野、池口
受付 3名 冬柴、小菅、寺山
駐車場 5名 浅田、尾崎、渡辺、小林、松下、桜井
暖房 1名 伊藤正弘
調理 5名 久保田、渥美、西口ほか

5. その他

- ・ 次回実行委員会で会議の様子をケーブルテレビが撮影することが決定。
役員5名から当日参加の呼びかけを行う。
役員には19:00に集合していただく。
- ・ ストープについては、小学校の備品をお借りする。
体育館は、各教室の分を移動させる。
- ・ PRチラシの印刷、回覧準備については、1月21日(土)18:00～
市役所1階 市民活動コーナーにて行う。都合のつく方は、なるべく参加していただく。

次回は・・・2006年2月2日(木)です
19:30～第2第3委員会室

次々回は・・・2006年2月17日(金)の予定です
19:30～大会議室



第6回 市民交流会 第8回実行委員会 議事録

と き：2006年 2月2日（木）19:30～
ところ：市役所 3階 第2第3委員会室

司会：鈴木壽一
書記：伊藤幸一
参加者 実行委員25名
※CATV取材有

1. 担当からの報告（出展・調理）

出展担当より 各団体のパネルの配置は、出展者説明会でのくじ引きにて決定。
パネル配置は、別添資料参照。前日準備は、13：00～
調理担当より 当日の昼食は、おにぎりと豚汁を200食分を予定。前日から関文化
交流センターで準備をし、当日11：00頃関小学校へ搬入す
ることとする。各部屋ごとにおにぎりや豚汁を分けて配布する。
（おにぎりを1つ1つ包むかどうかは次回までに調理担当で検討
する。）

2. 各担当タイムスケジュール・準備物・進行について

受付担当：会場内（体育館、廊下、各教室までの）案内看板を作成する。
名簿は、保険に必要となるため名前のみ記入していただく。
車椅子の通路の確認をする。全て購入するのではなく、あるものは寄
付なり借用してエコイベントを目指す。

総合司会：オープニングで市長が来場されたら、一言あいさつをいただく。
関中学生の発表の後、各ファシリテーターよりPRを30秒でお願い
したい。13：55～からのあいさつは、副委員長にお願いしたい。
14：00～の展示の案内をしていただく。15：00の終了あいさ
つは総合司会が行う。

駐車場：駐車場入り口がわかりにくいいため、人手が必要。応援頼みたい。
前日集合は、12：30とする。ジャンパーと駐車案内棒は市から借用
したい。駐車ライン引きは小学校から借用する。当日は、乗り合わせて
会場へ行くが、車を出しても良い方はお願いしたい。
———▶ 市からハイブリット車2台、伊藤正弘さん

出展：コードリール2個とブルーシートを市から借用したい。

調理：前日13：00から関文化交流センターで準備を行う。（8人出席）
当日は、8：30から関文化交流センターで準備を行い、11：00頃に
関小学校家庭室に搬入する。各分科会へ昼食を配膳する。（20人出席）

ファシリテーター：発表スタイルとある程度の進行を2月17日18:30～集まって決める。机、椅子の管理は、駐車場担当とともに管理する。模造紙、マジック、付箋紙を各部屋に準備する。

記録：話し合いの結果をまとめる。模造紙は、スクリーンにプロジェクターで映して発表をする。（一見真政さんが担当）

2. その他（エコイベントチェック・当日パンフレットについて）

エコイベントチェックシートを元に計画段階で環境配慮をしているかのチェックをした。

当日パンフレットは、次回に書記の伊藤さんから案を提案する。

次回は・・・2006年2月17日（金）です
19:30～大会議室



第6回 市民交流会 第9回実行委員会 議事録

と き：2006年 2月17日（金）19:30～
ところ：市役所 3階 大会議室

司会：鈴木壽一
書記：伊藤幸一
参加者 実行委員28名

1. 各担当タイムスケジュール・準備物等の最終確認（別紙参照）

担当別のタイムスケジュールを順に確認。

2. 作業スケジュール等交流会詳細の確認（別紙参照）

作業スケジュールについて確認。

3. 当日配布パンフレット・アンケートについて

伊藤（幸）さん原案をもとに、パンフレット及びアンケートについて話し合いを行う。来週中に案内受付担当が印刷作業を行うことに決定。色紙は、実行委員より寄付していただくことになった。

4. その他（エコイベントチェック、保険、緊急連絡網、自己アピール札等）
 - ・エコイベントチェックについては実施前の計画を確認。イベント終了後の実行委員会で最終チェックをする。
 - ・当日は八時に市役所に集合し、のりあわせにて、関小学校へ。
 - ・保険については往復も含めて適用。
 - ・各担当へ委員長から連絡が入るよう連絡先を確認し合った。
 - ・救急箱を借用する。
 - ・自己アピール札については、希望する有志のみが着用することとする。
 - ・うちあげ、あいづやにて決行。

次回反省会は・・・2006年3月10日（金）です
19:30～大会議室

第6回 市民交流会 第10回実行委員会 議事録

と き：2006年3月10日（金）19:30～
ところ：市役所 3階 大会議室

司会：鈴木壽一
書記：市民課市民参画女性係 松岡
参加者 実行委員18名

1. 会計報告

小菅さんより会計報告を行っていただいた。
残り115,278円については、報告書の作成に使う。

2. エコイベントチェックシートについて

エコイベントチェックシートにより実施段階、終了段階のチェックを行う。
計画した項目はすべて実施できた。

3. 実行委員反省（別添アンケート結果参照）

別紙参照

4. 成果報告について（報告書作成）

3月20日（月）午後より市民活動コーナーにて 書記を中心に編集会議をする。
その後、報告書を印刷業者に依頼し、製本する。
どこへ、何部配布するかが毎回不明確であったため、今回は、エコイベントの観点からも必要最小限の部数にする。
出展者30実行委員会30コミュニティセンター25、小中学校15、余分50作成することとする。他にダイジェスト版を作成し、各戸配布していく。

5. 課題解決に向けて

3月21日のきらめき亀山21 市民交流の日のテーマが「第6回市民交流会の課題から」であることもあり、当日参加者と出展団体に呼びかけ、課題を解決ための話し合いをする。

6. その他

実行委員反省コメント

- ・アンケートの回収は、各部屋でやった方が回収率は多かったのではないかと。今回は、150人の参加者に対して、75件ぐらいの回収率であった。昨年は、230人の参加者に対して、45件であった。
- ・初めてファシリをさせていただいた。時間が足りなかった。発表者に自分の至らないところを助けていただいた。市民の力はすごいと感じた。初めて参加した。午後からは少し抜けた。活動がお互いにわかった点では良かったと思う。全体では良かったのではないかと。
- ・昼からは抜けた。雨が降っていたので、駐車場が大変であった。外国人の分科会では、若いファシリテーターが良かった。環境の問題はやはり大事であると感じた。行政マンが駐車場の整理をテキパキとやっていただいた。スリッパの持込をチラシ等で呼びかけるべきである。
- ・ファシリは初めてであった。今回は成功ではなかったかと感じた。雨の中で150人いたのは良かったし、初めての参加者が多かったのも良かった。関の方がたくさん来ていただいた印象を持った。子どもの分科会は、参加者はとても思いのある方が多かった。
- ・久しぶりに新鮮な気持ちで望んでいただいた。駐車場の担当がびしょぬれになっていたのもとても恐縮だった。今回出た課題をいかに実現できるかを考えたい。
- ・案内係に徹した。雨の中で、会場を関町に移して、150人が参加したのは良かった。発表会の内容は、とても充実していた。今後21日の交流の日などを活用し、課題を解決していきたい。かさ袋を回収して、リサイクルできなかったのが反省点である。エコイベントをもう少し見直したい。
- ・もう少し多くてもよいのではないかと思う。分科会は、あれぐらいの人数でよかった。体育館の展示ももう少したくさんの方を呼びたい。受験シーズンなので、中学生の参加が少なかった。
- ・ファシリテーターは難しく感じた。外国人の分科会は参加者が少なかった。裏方が敏速に対応していただいて、5つの分科会がバランスよく参加者がそろってよかった。展開が読めなかったのももう少し厳密に議題を定めたい。中学校の発表はとてものめりこんだ。50才台が中心で、中学生と交流する場面は、少ないのでそのあたりに力をいれたい。
- ・初めて、実行委員会にかかわった。分科会も20人以上そろって司会者にも助けられてうまく進められた。模造紙をきっちり今後にかかしていききたい。パネルを動かして、消火栓を塞いだのは反省点である。ケーブルテレビはもう少し全体的に映してほしい。
- ・雨の中、たくさん来ていただいてうれしかった。顔ぶれを見ると固定化が否めない。今後の課題である。6回目でもあり、身近なテーマであったのでやりやすかった。ファシリの準備も自分なりにして望んだ。今後どう生かしていくかが重要であると思う。発表は、食改協の方が担当されたので、少し細かくなった。大型スクリーンは良かった。

- ・司会者として感じたのは、スタートが悪かった。のちに時間がおしていった。人口比からいって関町からの参加者が多く感じた。今回初めての方がアンケートの結果で多かったのも、関心をもっていた新しい層が多かった。映像と音響はいままでの中で最高であった。
- ・受付を担当した。あいさつ、中学生の映像も集中しづらかったが、中学生の発表はすばらしかった。参加者は、関町の方が多かったように感じた。アンケートの結果で初めて参加者が多いことは意外であった。もう少し若い層の参加が望ましい。展示を見る時間をゆったりとったのはよかった。部屋を分科会ごとに分けたのは正解であったと思う。少なかったが、外国人の参加者があったのもよかった。
- ・全体のムードは良かった。スクリーンと照明もメリハリがあって良かった。分科会もスムーズに進行できた。雨の中、たくさんの参加者がみえて胸をなでおろした。駐車場も機転を利かし、誘導していただいて非常に助かった。食事の配膳も全体的にバランスよくできたと思う。全体発表は、最後のグループは時間が足りなかったような気がする。展示交流もほとんど帰ることなく交流ができて非常に良い時間を過ごせたのではないかなと思う。アンケートのグラフをもう少し検討したい。
- ・今回は関町で初めてであったので、ユニークなものをしたかったができなかった。
- ・ 食事の仕込みは前日が少し手が足りなかったが、当日はたくさんきていただいた。雨だったが、臨機応変にできた。食べ残しもなく終了できて良かった。
- ・ 事前準備が良く分科会は満足している。
- ・ パネルブースにもっと掲示したかった。
- ・ 駐車誘導で行政関係者の苦勞がわかった。
- ・ ブースを見る時間が足りなかった。
- ・ 行政の参加者に課により偏りがあるのではないかな。
- ・ 企業からも来てくれると良い。

